



2025年2月21日

各 位

会社名 株式会社小田原機器
代表者名 代表取締役社長 丸山 明義
(コード番号：7314)
問合せ先 専務取締役管理部長 佐藤 健一
T E L 0465-23-0121

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗状況について

当社の資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けて、引き続き資本コストや株価を意識した経営を実践してまいります。

なお、当社グループでは2025年12月期は前期比で増収を見込む一方、持続的成長を見据えた新規領域の創出や、稼ぐ力の向上に向けた社内ITインフラの刷新など積極的な成長投資の実行を計画に織り込んだ結果、減益を見込んでおります。そのため、当初掲げていた2025年12月期のROE目標8.3%の達成を2026年12月期以降に延期することといたしました。つきましては、ROE 8.3%の達成に向けて、2026年12月期以降を対象とした次期中期経営計画の中で施策を具体化してまいります。

1. KPI目標

KPI	2023年12月期実績	2024年12月期実績	2025年12月期目標
ROE	5.0%	7.3%	3.1%
PBR	0.85倍	0.95倍	1.00倍

2. 改善計画

当社グループは、(1) 当期純利益率の改善、(2) 総資産回転率の改善、(3) 株主還元強化の3点により、ROEとPBRの向上を目指してまいります。

(1) 当期純利益率の改善

売上総利益率30%達成を目標とし、下記施策に取り組んでまいります。

① ハード・ソフト構造の標準化

従来の施策においてはソフトの基礎部分を標準化し、都度設計費用を削減することとしていましたが、これに加えてハードに対する標準化にも取り組み、標準仕様で生産・販売することで、コスト削減や品質向上など、競争力の強化を目指してまいります。

② ものづくり効率の向上

社内ITインフラを刷新し、従来の製番方式からMRP方式へ変革するとともに、販売・設計・製造に係る業務プロセス上の課題を洗い出し、最適化します。加えて、BOM(部品表)に基づいて設計出図と部材手配を行えるよう、新たな仕組みを導入いたします。

③ スタッフ機能の集約

当社グループの各社に点在する人事総務、経理、IT運用等のスタッフ機能を一か所に集約・標準化し、効率化を図ってまいります。

	2023年12月期実績	2024年12月期実績	2025年12月期目標
当期純利益率	4.9%	4.8%	1.7%

(2) 総資産回転率の改善

サプライチェーンを改善し在庫金額の最適化を図るため、下記施策に取り組んでまいります。

① 変種変量生産体制の構築

市場での需要の変化に応じて、求められる製品を必要な数だけタイムリーに生産できる体制を構築する。また、生産・販売・在庫計画に基づき、生産負荷と在庫の適正化を図ってまいります。

② リードタイムの短縮

社内ITインフラの刷新や生産プロセスの変革により部品の調達数・調達時期や設計・調達・製造タイミングを最適化し、リードタイムを短縮してまいります。

③ 変動費の低減

部材費が高騰する中、仕様を標準化し部品点数を削減することで変動費を削減してまいります。

	2023年12月期実績	2024年12月期実績	2025年12月期目標
総資産回転率	0.512回	0.620回	0.900回

(3) 株主還元の強化

2023年8月10日公表の「配当方針の変更、配当予想の修正及び株主優待制度の新設に関するお知らせ」のとおり、下記のとおり配当方針を変更しました。本方針に基づき、引き続き積極的な株主還元を実施してまいります。

変更前	変更後
原則、配当性向30% ただし、1株あたり15円の安定配当部分 を設定	下記のうち、金額が大きい方 ・ 配当性向30% ・ D O E 2.0% ただし、1株あたり15円の安定配当部分 を設定

以 上